

杉劇

アート de にこにこ プロジェクト

2023 レポート

プログラムⅠ

創造
プロジェクト

ART



LIVE



プログラムⅡ

地元発掘映像交流
プロジェクト

DANCE



MOVIE



プログラムⅢ

アート体験
プロジェクト

RODOKU



プログラムⅣ

いっしょに歌おう
プロジェクト

GAGAKU



UTA



SUGIGEKI ART de NIKONIKO PROJECT
2023 REPORT

主催：

横浜市磯子区民文化センター

杉田劇場

(公益財団法人横浜市芸術文化振興財団/特定非営利活動法人チーム杉劇
有限会社アイコニクス/株式会社ニックスサービス共同事業体)

助成：一般財団法人 地域創造

協賛：株式会社ヤマハミュージックリテイリング横浜店
(杉劇にこにこ冬まつりライブ スペシャル 2024)

創造プロジェクト

美術・音楽・演劇のそれぞれのジャンルで、障がいのあるアーティストや参加者と、地元の若手アーティストたちががいっしょに創っていくプロジェクト。みんなで楽しさと感動を分かち合おう！

【美術系プロジェクト】

杉劇にここを見本市

「カラフルワールド2024」

実施日：2024年2月1日～5日

参加団体：ドリームエナジープロジェクト、スクランブル・ダンスプロジェクト、磯子区青少年の地域活動拠点イソカツ、多文化共生スポットワールドキッズ、いそご多文化共生ラウンジ、塚田麻美

その他企画参加者：杉劇にここ合唱団、杉劇☆歌劇団、ドリームエナジープロジェクト冬まつり出演者(米良美一、早坂真子)、新杉田地域ケアプラザ、杉田小学校、さわの里小学校、ロビーパフォーマンスより(のびのび保育園、ピノキオ幼稚園、アスク新杉田保育園、ピーマン保育園)

入場者数：202名(のべ)

障がいのある人のアート活動や、地域の居場所づくり活動に取り組むグループなどの作品展示と活動を紹介している杉劇にここ見本市。今年度はプロジェクトの最終年ということもあり、「カラフル」をテーマにしたアート作品や舞台衣装の他、タイトルの「にここ」にちなみ、笑顔(にこちゃん)のぬり絵企画も開催。地域の学校やケアプラザ、にここ冬まつりの参加者など、色々な方に自由に描いていただき、作品と一緒に展示しました。



©squash yokohama japan (KIMURA Keiichi)

【音楽・ダンス系プロジェクト】

杉劇にここ冬まつりライブ2024 スペシャル

開催日：2024年2月3日(ミュージックライブ編)4日(ダンス編)

出演：〈ミュージックライブ編〉杉劇☆歌劇団、米良美一(声楽家)、杉劇にここ合唱団、「P」otters(野村琴音&オオモリヨウヘイ)、早坂真子、コールファンタジア
〈ダンス編〉スクランブル・ダンスプロジェクト、ドリームエナジープロジェクト、山下洋輔×戸松美貴博 肉態即興DUO

入場者：170名(ミュージックライブ編)139名(ダンス編)



今年度はミュージックライブ編とダンス編の2日間に分かれて開催しました。ミュージックライブ編は3年間の集大成として、声楽家の米良美一さんらプロジェクトを通して支えて下さったアーティストの演奏をメインに開催。ダンス編は「スクランブル・ダンスプロジェクト」「ドリームエナジープロジェクト」のダンスパフォーマンスに加え、スペシャルゲストとして「肉態表現家」戸松美貴博さんとジャズピアニストの山下洋輔さんをお招きし、観衆も一体となったパフォーマンスで盛り上げました。

©squash yokohama japan (KIMURA Keiichi)

【演劇系プロジェクト】

杉劇☆歌劇団 本公演2024

ミュージカル『TAKEJI～デタラメの国の王～』

開催日：2024年1月27日(2公演開催)

出演：杉劇☆歌劇団、中村 牧(ピアノ)

指導：井上学(脚本・演出)、山本竹佑(歌唱指導)、陽向さとこ(振付指導)

入場者数：261名(2公演のべ)

今年度の杉劇☆歌劇団がお届けしたのは、デタラメ大王が支配するデタラメな物語の世界。デタラメの裏に隠された大王の想いは磯子の過去と今をつなぎ、観客の心に正しさとは一体なにかを問いかけます。磯子に実在した児童文学作家「平塚武二」を題材に、ファンタジーと現実が交差するコメディ作品を地域に住む総勢21名の劇団員で作りました。



©squash yokohama japan (KIMURA Keiichi)

プログラムⅡ

\\地元発掘映像交流プロジェクト\\

地域のみなさまに、地域で活躍するスタッフと共に3年をかけて、磯子の地域を題材にした映像作品を作成するプロジェクト。

空から見るISOGO

—Drone in my city

撮影日：2023年12月20日

撮影：高梨智樹、高梨浩昭(スカイジョブ合同会社)

編集：木村敬一、木村知子(squash yokohama japan)

3年目となる今年度は「紅葉の隠れスポット」として磯子区に流れる笹下川と左右手川付近を、ドローンによる空撮を中心に映像作品としました。識字障がいがあるドローンパイロット高梨智樹さんによるエキサイティングな空撮は、川辺の紅葉を美しく鮮やかに彩りました。

杉田劇場Youtube公式チャンネルにて公開!!



©杉田劇場

磯子文化 ガイドマップ'9

今年度からは磯子区内に数多く存在している「暗渠」を紹介、エリアは岡村・洋光台・上笹下地区を採り上げます。地域の福祉施設等を中心とした「美味しい情報」も！磯子区内を中心に配布中!!



アート体験プロジェクト

杉劇にこにこアート体験塾

子どもたちに時代が変わっても忘れてはならないこと、伝えていきたいことを杉田劇場で体験してもらうプロジェクト。
地域発の朗読劇、オペレッタ、邦楽(雅楽)をプログラミング。

小学校の特別支援学級の生徒も積極的に迎え入れ、地域の小学校へ向けアウトリーチ公演も開催いたしました。

横浜夢座 朗読「真昼の夕焼け」

実施日：2023年7月5日
参加校：杉田小学校、桜岡小学校(計193名)

昭和20年5月29日の横浜大空襲で、大戦禍に見舞われた横浜…その日、当時中学生だった作者が見た横浜の市街地の悲惨な光景、その日の淡い出会いを朗読劇にしました。横浜出身の女優、五大路子さん率いる横浜夢座が、「子どもたちに戦争を知ってもらいたい」という熱い想いを伝えるため、近隣の小学生に向けて上演しました。



©squash yokohama japan (KIMURA Keiichi)

東京オペレッタ劇場による「オペレッタを楽しもう！」



©squash yokohama japan (KIMURA Keiichi)

実施日：2023年9月7日
参加校：杉田小学校、さわの里小学校、桜岡小学校(計253名)

オペレッタ(喜歌劇)を楽しむための、子ども向け入門講座を開催しました。参加児童はプロの音楽家の歌唱に圧倒され、照明を巧みに使った演出の美しさに感動しつつ楽しく学ぶ様子が印象的でした。

アウトリーチ公演「雅楽」

実施日：2024年2月28日
参加校：さわの里小学校6年生(54名)

昨年に引き続き、磯子区在住の笙奏者・真鍋尚之さんとその仲間達による雅楽と舞楽を鑑賞しました。授業で習う「越天楽」や、各楽器による輪唱形式の演奏を聴きました。実際に歌を歌って演奏に参加する部分もあり、日本伝統芸能に触れることができる機会となりました。



©杉田劇場

子どもたちの感想

Q1：今まで劇場に
来たことはありますか？

いいえ
約32%



はい
約68%

Q2：生の音楽や劇を観てどんな気持ちになりましたか？

- すてきな音がわたしをつつんだような気持ち。
- 今本当にそこにいるような気持ちで、震えなどが伝わっていると思いました。
- すごい。ライトのちょうせいがむずかしそう。
- 今日観たものは、本当にあった話で、自分がそこにいるように感じるくらいすごかったです。
- やっぱりテレビで劇を観るんじゃなくて、生で観るのがいいなと思った。

いっしょに歌おうプロジェクト

杉劇にこにこ合唱団

実施期間：2023年8月～2024年2月(全19回)
講師：飯田千夏、竹村淳
参加人数：37名

今年度は「杉劇にこにこ合唱団」として参加者を公募し、本格的な活動を開始しました。12月23日開催の「みんなで歌おう 第8回磯子音楽祭」では『第九』を原語のドイツ語で合唱し、2月3日「杉劇にこにこ冬まつりライブ2024 スペシャル」では『もののけ姫』を米良美一さんと一緒に歌いました。



©squash yokohama japan (KIMURA Keiichi)